



田山花袋記念文学館

「田山花袋朗読プロジェクト発表会」

市内及び近隣の高校生が、郷土の文豪・田山花袋の作品を朗読します！

田山花袋記念文学館では、昨年度より田山花袋朗読プロジェクトを実施しています。今年度は市内及び近隣高校の生徒8名をメンバーに迎え、朗読指導者・針谷範子さんによる全7回の朗読講座をおこない、田山花袋の作品理解と朗読の技術について学びました。

花袋の名は知っているけれど作品は読んだことないという方にも、声で味わう花袋作品の素晴らしさ、朗読の「ことばで伝える力」をご体感いただけるイベントです。

発表会に先立ち、針谷さんの師・元 NHK アナウンス室長山根基世さんによる特別講演「地域をつなぐ ことばの力」も合わせて開催します。ぜひご来場ください。



日時:令和7年3月16日(日) 午後2時開演

(午後1時半開場、午後4時半ごろ終演予定)

会場:日清製粉ウエルナ三の丸芸術ホール

入場費:無料

定員:300名 \*事前申込み制(電話・ロゴフォーム使用予定)

主催:館林市教育委員会 館林市「日本遺産」推進協議会

内容:

★特別講演

演題 = 「地域をつなぐ ことばの力」(約20分)

ゲスト講師 = 山根基世さん(元 NHK アナウンス室長)

★高校生による花袋作品の朗読発表

群馬県立館林女子高等学校 3名

関東学園大学附属高等学校 2名

群馬県立太田高等学校 3名 合計8名

発表当日は館林紬を着て朗読します！  
(昨年の発表会の様子)



朗読作品 裏面に詳細あり

- ・「幼き頃のスケッチ」より  
「私の大きくなった町」「凧」  
「沼」「沼の主」「城址」「朝霜」
- ・『一日の行楽』より  
「館林の躑躅」
- ・『東京の三十年』より  
「丘の上の家」「机」



発表メンバー



山根基世さん プロフィール

1971年 NHKに入局。多数の番組ニュース、ナレーションを担当。2005年、女性として初のアナウンス室長。2007年、NHK退職後は、朗読を手掛かりとして「子どものことば」を育てることを目的に、地域作りとことば教育を組み合わせた独自の活動を続けている。



## 朗読発表作品について

- 「幼き頃のスケッチ」より  
「私の大きくなった町」「凧」  
「沼」「沼の主」「城址」「朝霜」

明治44年(1911)発表の「幼き頃のスケッチ」は、14歳まで暮らしたふるさとの思い出を記した随筆です。幼い花袋が見た館林の情景をお楽しみください。

- 『一日の行楽』より  
「館林の躑躅」

大正7年(1918)発表の『一日の行楽』は、東京から1～2日で行ける名所、旧跡、景勝地を花袋自身が訪ね、その体験をまとめた旅行案内です。“ありのままを表現する”自然主義作家の視点から見た100年前の館林をお楽しみください。

- 『東京の三十年』より  
「丘の上の家」「机」

大正6年(1917)発表の『東京の三十年』は、花袋が東京での暮らしを振り返り記した自伝です。文学者を志した若き日の追憶から仲間との交流など、30年分の花袋の人生が詰まっています。今回は親友・国木田独歩との出会いを回想した「丘の上の家」、原稿の締切に苦しむ花袋と妻との様子をコミカルに描いた「机」を朗読します。会話劇を通して、花袋の人間像に迫ります。

## 問い合わせ

■館林市教育委員会 文化振興課  
■〒374-0018 館林市城町3-1

■電話 0276-74-4111  
■FAX 0276-74-4113

担当：塚原